

高度急性期・急性期

- ①高度急性期医療機関間の機能調整について、協議を進めていく。
- ②高度急性期・急性期・地域包括ケア病棟との連携について、協議を進めていく。

回復期

①回復期、地域包括ケア病棟（病床）は増加
②地域包括ケア病棟（病床）は自院や他病院の急性期病床から患者を受け入れ長めの入院期間を経て自宅や施設に退院させている。
③地域包括ケア病棟（病床）の2～4割は自宅や施設からの入院を受け入れており、サブアキュートの機能を果たしている。

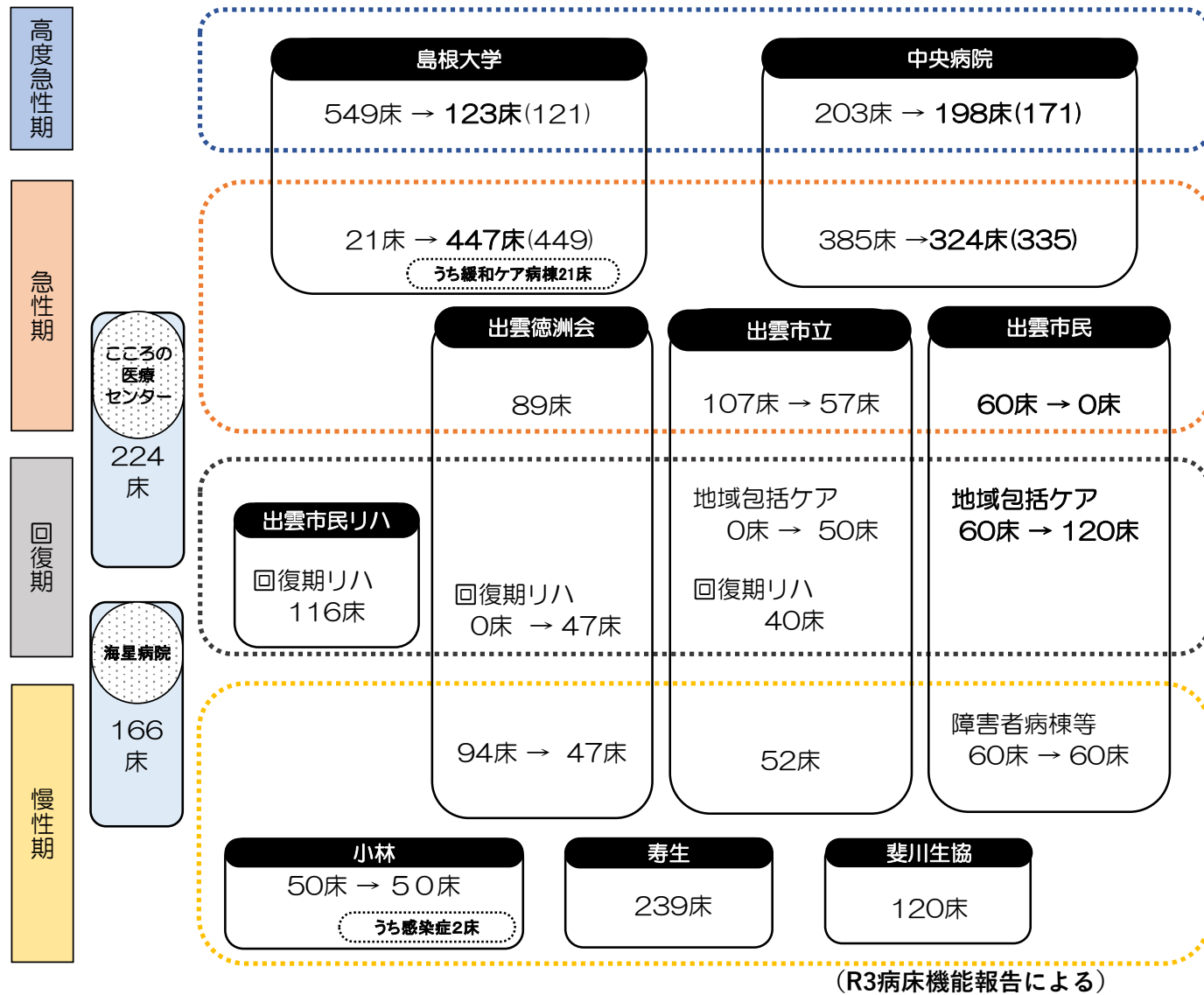
①在宅医療の体制整備として、地域包括ケア病棟のサブアキュート機能の強化に向けて検討する。
②回復期病床への転換による増床を目指す。

慢性期

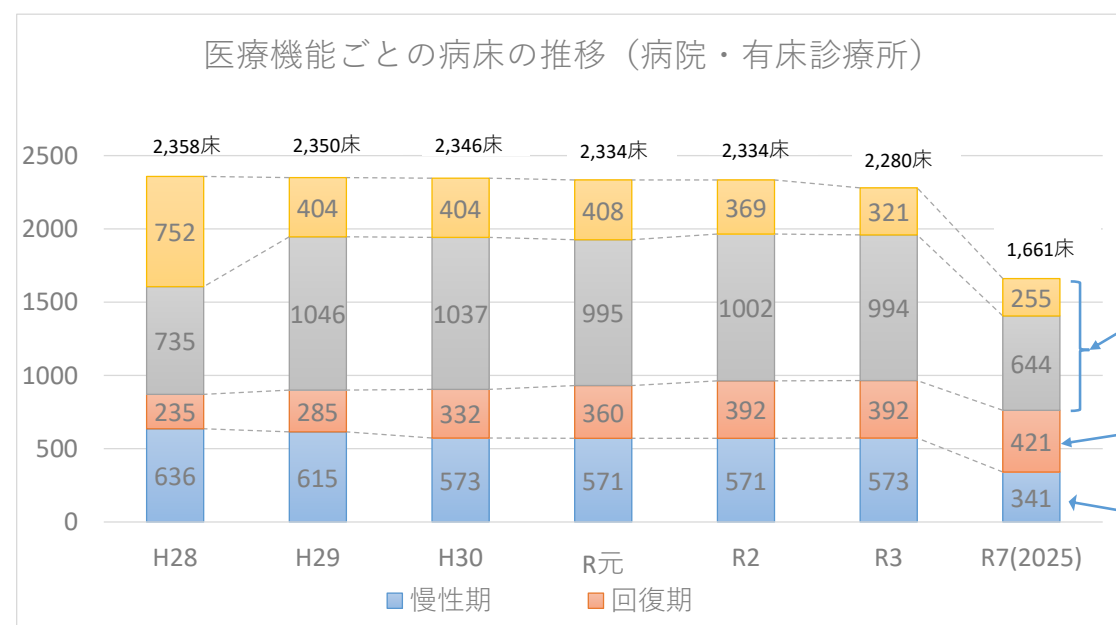
- ・老健や特養は医療区分1の人の受け皿にはなっておらず、療養病床がその役割を担っている。

- ①医療区分1の人の受け皿の実態を把握し、今後の病床のあり方について検討する。
- ②慢性期病床の減少を目指す。

(令和元年度第3回医療・介護連携専門部会での検討結果から)



2025年に向けて「高度急性期・急性期」「慢性期」の減少、「回復期」の増床を目指している。
取り組みにより、急性期・慢性期から回復期への転換が進んでいる。
今後に向けては、高度急性期及び慢性期の見直しが課題である。



- ・H28→R3年度 **78床減少**
- ・さらにR7(2025)年度までに**619床の減少**
が目標

1 【高度急性期・急性期】
減らす方向で検討

② 【回復期】 増やす方向で検討

【慢性期】 減らす方向で検討

令和3年度報告 (確定)	医大	県中	出雲市立 総合医療 センター	徳洲会	出雲市民 リハ病院	出雲市民	寿生病院	斐川生協	小林病院	その他の有 床診療所	合計	地域医療情 況による必 要病床数 (2025)
高度急性期	123	198									321	255
急性期	447	324	57	89						77	994	644
回復期			90	47	116	120				19	392	421
地域包括ケア病棟			50			120					170	
回復期リハビリテーション病棟			40	47	116						203	
慢性期			52	47		60	239	120	50	5	573	341
療養病棟 (20対1)			52	47				120	48		267	
療養病棟 (25対1)							239				239	
障害者施設等						60					60	
合計	570	522	199	183	116	180	239	120	50	101	2,280	1661

病院名	高度急性期	急性期	回復期		慢性期
			地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション	療養病棟 障害者病棟
島根大学医学部附属病院	●	●			
島根県立中央病院	●	●			
出雲市立総合医療センター		●	●	●	●
出雲徳洲会病院		●		●	
出雲市民病院			●		●
出雲市民リハビリテーション病院				●	
斐川生協病院					●
小林病院					●
寿生病院					●